

## 一部弱含んでいるものの持ち直している

(前回:九州地域の経済は、持ち直している)

生産は持ち直している。輸出は2か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少しており、厳しさがみられる。

■1月生産:持ち直している  
(12月:持ち直している)

- 鉱工業生産指数 105.1  
前月比 + 6.5% (2か月ぶり)  
前年同月比 ▲ 0.2% (16か月連続)
- 全13業種中、上昇は9業種  
汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業、金属製品工業等
- 低下は4業種  
鉄鋼・非鉄金属工業、プラスチック製品工業等

(出所:九州経済産業局)

■1月輸出:増加(2か月連続)  
(12月:増加)

- 輸出額 4,851億円  
前年同月比 + 0.7% (2か月連続)
- 主要品目  
自動車 1,095億円 ▲15.6% (3か月連続)  
電子部品 670億円 ▲0.5% (2か月ぶり)  
鉄鋼のフラットロール製品  
299億円 + 9.5% (3か月連続)
- 国別  
中国 1,229億円 +26.7% (2か月連続)  
米国 615億円 ▲11.3% (2か月ぶり)  
韓国 683億円 +42.6% (6か月連続)

(出所:門司税関)

■1月個人消費:横ばい傾向  
(12月:緩やかに持ち直している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)  
1,208億円 前年同月比 ▲ 8.9% (3か月連続)
- コンビニ 933億円 ▲ 3.9% (2か月連続)
- 家電大型専門店 334億円 +17.0% (4か月連続)
- ドラッグストア 574億円 + 4.2% (4か月連続)
- ホームセンター 269億円 - ( - )
- 新車登録台数 35,246台 +10.3% (4か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

## ■1月雇用:求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少しており、厳しさがみられる

- (12月:求人に改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している)
- 有効求人倍率 1.07倍  
前月比 +0.03%ポイント  
(2か月ぶり)
  - 新規求人倍率 1.88倍  
前月比 ▲0.06%ポイント  
(3か月ぶり)
  - 新規求人数  
医療・福祉、卸売・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

## ■業況:改善(2四半期連続)

- 12月の業況DI (%ポイント)  
全産業 ▲ 9 変化幅 +13  
製造業 ▲13 変化幅 +16  
非製造業 ▲ 6 変化幅 +13
- 先行き(3月)  
全産業 ▲13 変化幅 ▲ 4  
製造業 ▲14 変化幅 ▲ 1  
非製造業 ▲12 変化幅 ▲ 6

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

## ■設備投資:減少(2四半期連続)

- 19年度(実績)  
全産業 +10.0%  
製造業 +21.3%  
非製造業 ▲ 4.8%
- 20年度(計画)  
全産業 ▲ 9.0%  
製造業 ▲ 6.0%  
非製造業 ▲14.1%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

## ■1月住宅建設:減少(18か月連続)

- 新設着工戸数 5,480戸  
前年同月比 ▲13.7%  
(18か月連続)
- 持家 2,229戸  
+1.8% (2か月連続)
- 貸家 1,953戸  
▲19.7% (7か月連続)
- 分譲 1,256戸  
▲26.3% (3か月連続)

(出所:国土交通省)

## ■1月公共投資:減少(3か月ぶり)

- 工事請負金額 823億円  
前年同月比 ▲5.2% (3か月ぶり)
- 発注者別前年同月比  
国 ▲26.8%  
独立行政法人等 ▲25.7%  
県 ▲10.3%  
市町村 +13.7%

(出所:西日本建設業保証株)

## ■1月倒産:減少(7か月連続)

- 倒産件数 37件  
前年同月比 ▲43.9%
- 負債総額 46.6億円  
▲78.1% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)  
製造業 1件 (▲88.9%)  
卸・小売業 12件 (▲20.0%)  
建設業 4件 (▲73.3%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

# 九経マンスリー（2021年1月）

2021年3月10日  
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、一部弱含んでいるものの持ち直している

生産は持ち直している。輸出は2か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人が求職を上回って推移しているもの、求人が大幅に減少しており、厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2021年1月)			
<b>1. 生産動向</b> 1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、105.1となり、前月比が6.5%と2か月ぶりの上昇となった。	<b>■生産動向【九州経済産業局】</b>	前月比	前年同月比	
	生産指数	105.1	6.5 ▲0.2	
	(参考)出荷指数	103.1	4.2 ▲1.7	
	在庫指数	95.1	▲2.6 ▲10.0	
<b>2. 設備投資動向</b> 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比▲6.0%、非製造業は同▲14.1%、全産業は同▲9.0%と前年度を下回る見込み。	<b>■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度実績、2020年度計画)</b>	2019年度	2020年度	
	全産業	10.0	▲9.0	
	製造業	21.3	▲6.0	
	非製造業	▲4.8	▲14.1	
<b>3. 貿易動向</b> 1月の輸出額は、前年同月比+0.7%と2か月連続の増加。輸入額は▲11.4%と22か月連続の減少となった。	<b>■貿易動向【財務省】</b>	輸出通関額	4,851億円	
	輸入通関額	4,070億円	0.7 ▲11.4	
<b>4. 消費動向</b> <b>●百貨店・スーパー販売額</b> 1月の百貨店・スーパー販売額は1,208億円で前年同月比▲8.9%と3か月連続の減少となった。百貨店は284億円で同▲31.3%と16か月連続の減少、スーパーは923億円で同+1.2%と4か月連続の増加となった。 <b>●コンビニエンスストア販売額</b> 1月のコンビニエンスストア販売額は、933億円で、前年同月比▲3.9%の減少となった。店舗数は5,600店となった。 <b>●家電販売額</b> 1月の家電販売額は334億円で、前年同月比+17.0%の増加となった。 <b>●乗用車新車登録・届出台数</b> 1月の乗用車新車登録・届出台数は、小型乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車の前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+10.3%と4か月連続の増加となった。 <b>●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。</b> 12月の消費支出(二人以上の世帯)は286,586円で、前年同月比▲2.2%と3か月ぶりの減少となった。実収入(勤労者世帯)は、同▲7.9%と3か月ぶりの減少となった。 <b>●賃金(現金給与総額)</b> 11月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比▲1.4%と2か月連続の減少、製造業は同▲0.6%と8か月連続の減少となった。	<b>■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】</b>	合計	120,751百万円	▲8.9
	百貨店	28,405百万円	▲31.3	
	スーパー	92,346百万円	1.2	
	<b>■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】</b>	販売額	93,278百万円	▲3.9
	店舗数	5,600店	▲0.1	
	<b>■家電販売額【九州経済産業局】</b>	販売額	33,440百万円	17.0
	<b>■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】</b>	乗用車計	35,246台	10.3
	普通車	12,406台	25.6	
	小型車	7,898台	▲8.9	
	軽自動車	14,942台	11.5	
	<b>■家計調査【総務省】(2020年12月)</b>	消費支出	286,586円	(実質)▲2.2
	(二人以上の世帯)			
	実収入	943,118円	(実質)▲7.9	
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	64.0%	0.8	
	<b>■賃金【各県】(2020年11月)</b>	全産業	▲1.4	
	製造業	▲0.6		
	<b>■住宅建設動向【国土交通省】</b>	住宅着工計	5,480戸	▲13.7
	持家	2,229戸	1.8	
	貸家	1,953戸	▲19.7	
	分譲住宅	1,256戸	▲26.3	
<b>5. 住宅建設動向</b> 1月の新設住宅着工戸数は、持家が増加したものの、貸家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲13.7%と18か月連続の減少となった。	<b>■物価動向【日本銀行・総務省】</b>	消費者物価指数(九州)	102.6	0.7 ▲0.1
<b>6. 物価動向</b> 1月の消費者物価指数(九州)は、102.6で前年同月比▲0.1%と4か月連続の減少(前月比+0.7%)となった。国内企業物価指数は、100.7で前年同月比▲1.6%と11か月連続の低下(前月比+0.4%)となった。		企業物価指数(全国)	100.7	0.4 ▲1.6
<b>7. 雇用動向</b> 1月の有効求人倍率は前月比+0.03ポイントの1.07倍、新規求人倍率は前月比▲0.06ポイントの1.88倍となった。	<b>■雇用動向【九州各労働局】</b>	有効求人倍率(季調値)	1.07倍	0.03 ▲0.31
<b>8. 公共投資動向</b> 1月の公共工事請負金額は、前年と比較し、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等、県が減少し、全体で前年同月比▲5.2%と3か月ぶりの減少となった。		新規求人倍率(季調値)	1.88倍	▲0.06 0.05
<b>9. 企業倒産動向</b> 1月の倒産件数は前年同月比▲43.9%と7か月連続の減少、負債金額は同▲78.1%と2か月ぶりの減少となった。	<b>■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】</b>	請負金額	82,320百万円	▲5.2
	<b>■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】</b>	倒産件数	37件	▲43.9
	負債金額	4,662百万円	▲78.1	

(注)・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。

・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

# 九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年3月10日  
九州経済産業局

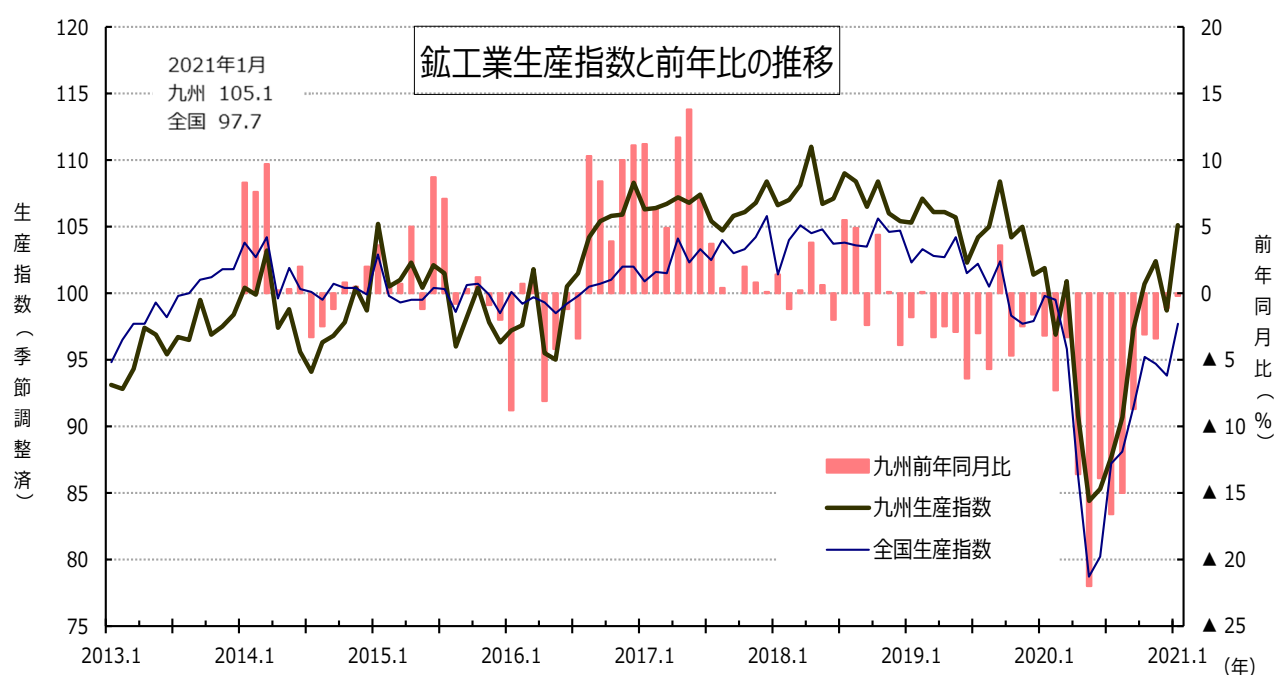
## 1. 生産動向

### (1) 全体

2021年1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は105.1となり、前月比が6.5%と2か月ぶりの上昇、前年同月比は▲0.2%と16か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前年同月比 %	
生産	105.1	6.5	95.8	▲ 0.2	97.7	4.2	88.5	▲ 5.3
出荷	103.1	4.2	94.7	▲ 1.7	95.8	3.2	87.0	▲ 5.1
在庫	95.1	▲ 2.6	99.1	▲ 10.0	95.1	▲ 0.2	96.2	▲ 10.5
在庫率	114.7	5.5	122.4	▲ 1.3	106.5	▲ 6.3	118.5	▲ 4.8

▲印は低下を示す。(2015年=100)

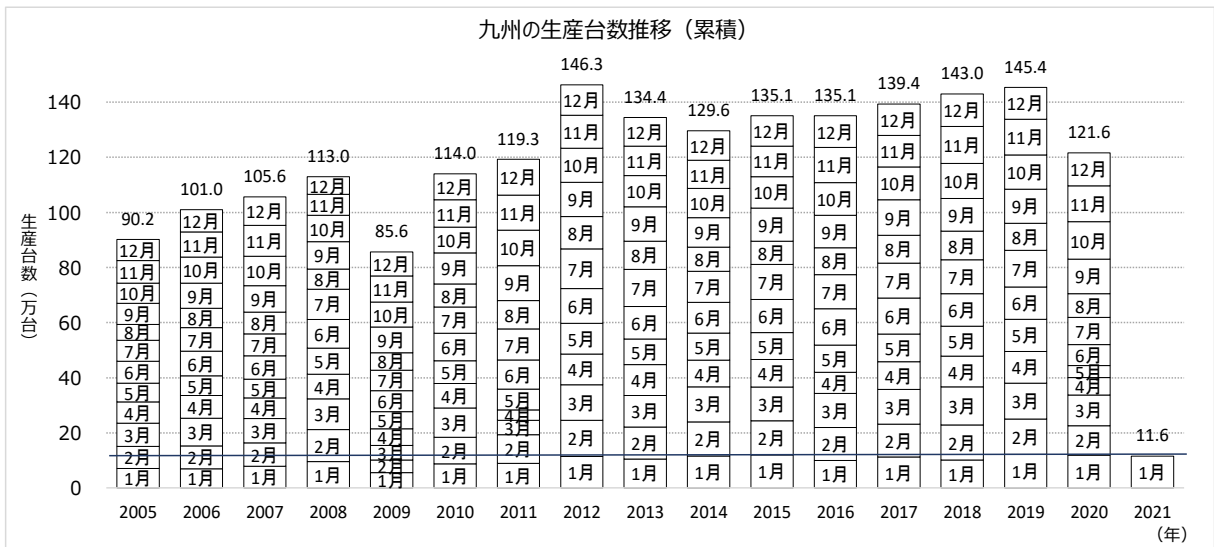


【生産】前月比 6.5 % 2か月ぶり上昇（全13業種中 上昇 9業種、低下 4業種、横ばい 0業種）

主な上昇・低下業種/ウェイト			前年		前月比		主な上昇・低下品目
			同月比	前月	前月	今月	
上昇	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	9.9	▲ 14.0	26.3	半導体製造装置 等	
	輸送機械工業	1,351.7	▲ 5.6	▲ 5.6	5.3	普通乗用車、四輪自動車部品 等	
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲ 13.7	▲ 10.5	13.2	半導体・IC測定器、電気照明器具 等	
	金属製品工業	487.4	▲ 4.0	▲ 2.0	7.9	飲料用アルミニウム缶、アルミニウム製建具 等	
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲ 2.6	▲ 3.3	▲ 1.6	特殊鋼鋼材、鉄素製品（含、鋼半製品） 等	
	プラスチック製品工業	377.6	▲ 8.0	▲ 1.0	▲ 1.8	プラスチック製容器、プラスチック製フィルム・シート 等	

## (2) 四輪自動車生産動向

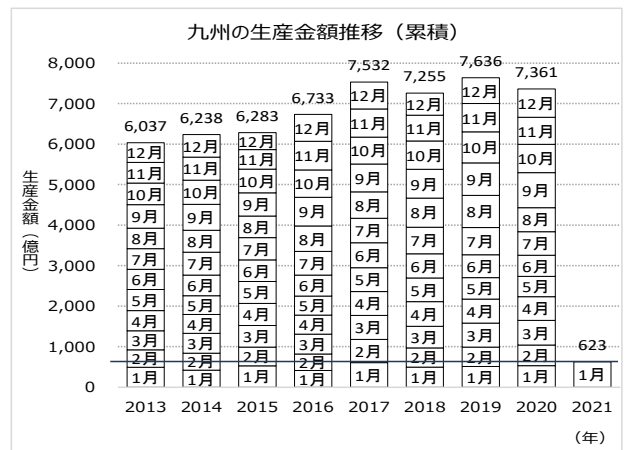
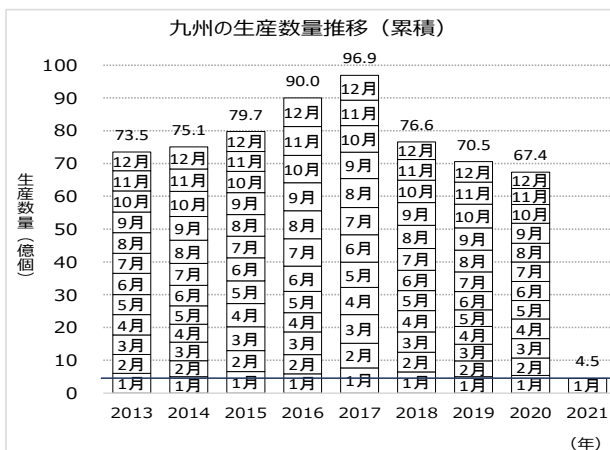
生産台数は 115,555 台と、前月比▲3.9%、前年同月比▲3.0%となった。



## (3) IC生産動向

生産は、数量で 4 億 4,875 万個と、前月比▲9.9%、前年同月比▲16.7%となった。

額で 623 億 1,000 万円と、前月比▲11.1%、前年同月比+17.6%となった。



## 2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	19年度		20年度 (計画)	
		修正率		修正率
製造業	21.3	-	▲ 6.0	▲ 6.7
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 4.8	-	▲ 14.1	3.9
全産業 (除 電気・ガス)	10.0	-	▲ 9.0	▲ 3.2
(参考)全国全産業	▲ 0.6	-	▲ 3.9	▲ 1.3

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

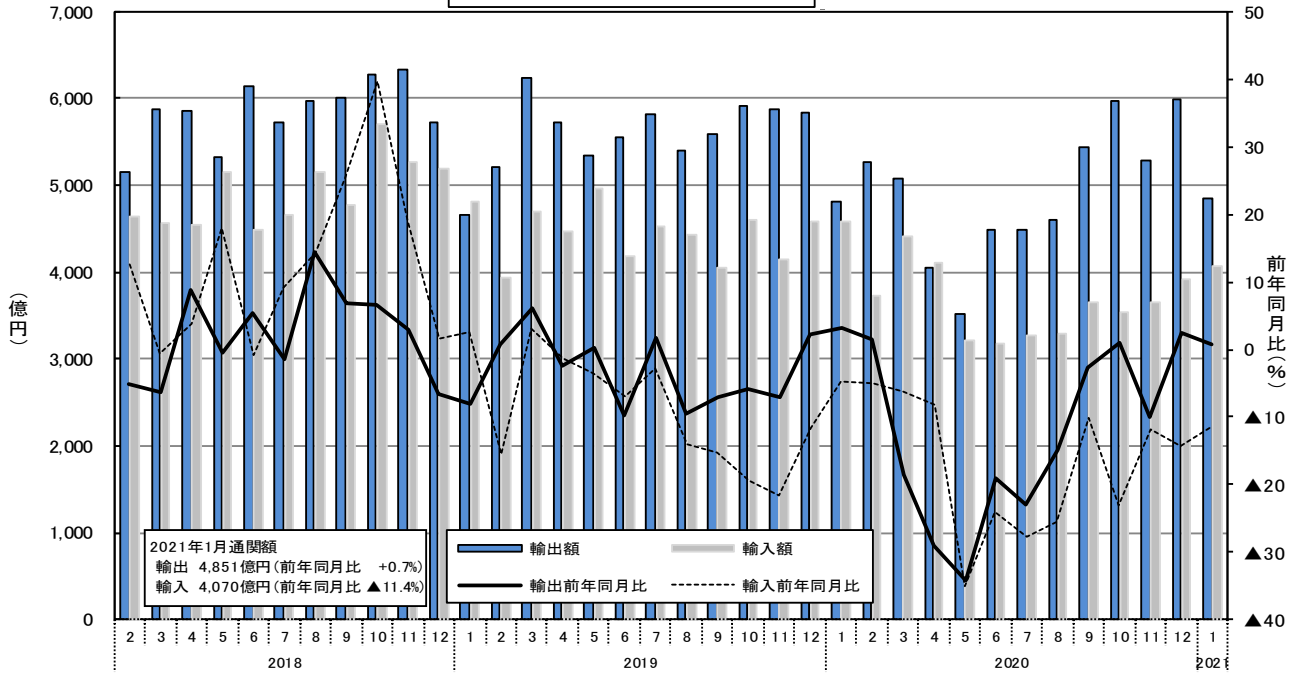
出所:日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

## 3. 貿易動向

1月		金額	前年同月比		全国 シェア
輸出	九州	4,851億円	+ 0.7%	2か月連続の増加	8.4%
	全国	5兆7,796億円	+ 6.4%	2か月連続の増加	-
輸入	九州	4,070億円	▲ 11.4%	22か月連続の減少	6.7%
	全国	6兆1,049億円	▲ 9.5%	21か月連続の減少	-
貿易収支	九州	+ 781億円	-	9か月連続の貿易黒字	-
	全国	▲ 3,254億円	-	7か月ぶりの貿易赤字	-

		2019年	2020年	2020年				2020年			2021年
				1~3	4~6	7~9	10~12	10月	11月	12月	1月
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	▲ 12.2	▲ 5.8	▲ 27.4	▲ 13.7	▲ 2.2	1.0	▲ 10.0	2.5	R 0.7
	前年比:%	全国	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 5.5	▲ 25.3	▲ 13.0	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 4.2	2.0
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	▲ 16.6	▲ 5.2	▲ 22.9	▲ 21.6	▲ 16.6	▲ 23.1	▲ 11.9	▲ 14.4	P ▲ 11.4
	前年比:%	全国	▲ 5.0	▲ 13.8	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 20.1	▲ 12.0	▲ 13.2	▲ 11.1	▲ 11.6
対アジア	輸出	▲ 0.8	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 17.1	2.9	2.7	8.9	▲ 5.9	5.5	R 20.3
	前年比:%	輸入	▲ 6.7	▲ 10.7	▲ 10.1	▲ 14.5	▲ 15.6	▲ 2.4	▲ 6.6	1.2	▲ 1.5
為替レート(¥/\$) (期中平均)		109.01	106.78	108.86	107.60	106.19	104.49	105.24	104.40	103.82	103.70
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		66.79	47.13	67.50	32.28	40.73	43.82	44.54	42.31	44.46	P 50.09

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※ ( )内は前年同月比
増加	半導体等製造装置	236	+ 74.3%	2か月連続	+2.1%	韓国(+169.1%)、中国(+82.8%)、アメリカ(+407.1%)等が増加。台湾(▲86.2%)、ASEAN(▲63.0%)、EU(▲93.9%)、中東(▲53.8%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	299	+ 9.5%	3か月連続	+0.5%	ASEAN(+116.8%)、中国(+25.6%)、台湾(+16.8%)、EU(+345.3%)、アメリカ(+680.7%)等が増加。韓国(▲27.0%)、中東(▲42.3%)等が減少。
減少	船舶類	230	▲ 50.3%	2か月ぶり	▲4.8%	ASEAN(+151.6%)等が増加。香港(▲100.0%)、韓国(▲87.2%)等が減少。
減少	自動車	1,095	▲ 15.6%	3か月連続	▲4.2%	韓国(+666.6%)等が増加。中国(▲5.6%)、アメリカ(▲22.4%)、中東(▲4.6%)、台湾(▲6.5%)、ASEAN(▲59.9%)、香港(▲30.1%)、EU(▲99.3%)等が減少。
減少	有機化合物	140	▲ 19.4%	11か月連続	▲0.7%	韓国(+70.2%)、ASEAN(+20.8%)、中東(+28.3%)、香港(+35.8%)等が増加。中国(▲33.1%)、台湾(▲52.8%)、EU(▲57.5%)、アメリカ(▲16.9%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	156	▲ 2.8%	16か月連続	▲0.1%	中国(+7.4%)等が増加。アメリカ(▲20.6%)、EU(▲15.1%)、中東(▲1.7%)、ASEAN(▲13.9%)、韓国(▲26.0%)、台湾(▲10.4%)、香港(▲38.5%)等が減少。
減少	半導体等電子部品	670	▲ 0.5%	2か月ぶり	▲0.1%	韓国(+37.6%)、中国(+72.4%)、台湾(+14.5%)等が増加。香港(▲13.1%)、ASEAN(▲16.1%)、EU(▲7.2%)、アメリカ(▲82.1%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	液化天然ガス	246	+102.1%	2か月連続	+2.7%	3,276百MT	+ 31.5%	8か月連続
減少	原油及び粗油	620	▲ 32.3%	11か月連続	▲6.4%	1,934千KL	+ 2.7%	4か月ぶり

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※( )内は前年同月比
増加	中華人民共和国	1,229	+ 26.7%	2か月連続	+5.4%	半導体等製造装置(+82.8%)、半導体等電子部品(+72.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+25.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+7.4%)等が増加。自動車(▲5.6%)、有機化合物(▲33.1%)等が減少。
増加	大韓民国	683	+ 42.6%	6か月連続	+4.2%	半導体等電子部品(+37.6%)、半導体等製造装置(+169.1%)、有機化合物(+70.2%)、自動車(+666.6%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲27.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲26.0%)、船舶類(▲87.2%)等が減少。
増加	ASEAN	814	+ 26.5%	3か月ぶり	+3.5%	鉄鋼のフラットロール製品(+116.8%)、船舶類(+151.6%)、有機化合物(+20.8%)等が増加。半導体等電子部品(▲16.1%)、自動車(▲59.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲13.9%)、半導体等製造装置(▲63.0%)等が減少。
増加	台湾	279	+ 5.9%	5か月ぶり	+0.3%	半導体等電子部品(+14.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(+16.8%)等が増加。自動車(▲6.5%)、有機化合物(▲52.8%)、半導体等製造装置(▲86.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲10.4%)等が減少。
減少	EU	251	▲ 37.4%	10か月連続	▲3.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+345.3%)等が増加。半導体等電子部品(▲7.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲15.1%)、有機化合物(▲57.5%)、自動車(▲99.3%)、半導体等製造装置(▲93.9%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	615	▲ 11.3%	2か月ぶり	▲1.6%	鉄鋼のフラットロール製品(+680.7%)、半導体等製造装置(+407.1%)等が増加。自動車(▲22.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲20.6%)、有機化合物(▲16.9%)、半導体等電子部品(▲82.1%)等が減少。
減少	香港	301	▲ 16.0%	2か月ぶり	▲1.2%	有機化合物(+35.8%)等が増加。半導体等電子部品(▲13.1%)、自動車(▲30.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲38.5%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。
減少	中東	124	▲ 13.5%	9か月連続	▲0.4%	有機化合物(+28.3%)等が増加。自動車(▲4.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲1.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲42.3%)、半導体等製造装置(▲53.8%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	オーストラリア	635	+ 30.5%	2か月連続	+3.2%
増加	ロシア	73	+ 75.9%	4か月ぶり	+0.7%
増加	大韓民国	205	+ 2.3%	19か月ぶり	+0.1%
減少	中東	666	▲ 29.3%	9か月連続	▲6.0%
減少	中華人民共和国	774	▲ 19.3%	9か月連続	▲4.0%
減少	アメリカ合衆国	231	▲ 32.1%	4か月連続	▲2.4%
減少	EU	81	▲ 35.4%	13か月連続	▲1.0%
減少	ペルー	4	▲ 53.6%	2か月連続	▲0.1%
減少	ASEAN	605	▲ 0.5%	3か月ぶり	▲0.1%
減少	ナイジェリア	1	▲ 2.5%	3か月ぶり	▲0.0%

## 4. 消費動向

### (1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合 計		販売額	百貨店		販売額	スーパー	
		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)
全 国	1,627,485	▲ 5.8	(▲ 7.2)	363,026	▲ 30.3	(▲ 28.8)	1,264,459	4.8	(3.1)
九州計	120,751	▲ 8.9	(▲ 10.5)	28,405	▲ 31.3	(▲ 30.2)	92,346	1.2	(▲ 0.7)
衣料品	22,648	▲ 31.9	(▲ 31.4)	13,925	▲ 36.3	(▲ 35.7)	8,722	▲ 23.3	(▲ 22.9)
飲食物品	64,728	2.7	(0.8)	6,197	▲ 26.0	(▲ 23.7)	58,531	6.7	(4.7)
その他	33,376	▲ 7.6	(▲ 10.1)	8,283	▲ 25.2	(▲ 24.3)	25,093	0.4	(▲ 2.6)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	九州計	▲ 31.3	感染症や天候要因による、顧客の外出控えの影響などから全般的に不調で、16か月連続で前年を下回った。	▲ 31.3	▲ 30.2
	衣料品	▲ 19.2	初売りやセールsの動きが鈍かったことなどから、16か月連続で前年を下回った。	▲ 36.3	▲ 35.7
	飲食物品	▲ 5.3	菓子の動きが鈍かったことや、催事規模縮小の影響などにより、全般的に動きが鈍く、26か月連続で前年を下回った。	▲ 26.0	▲ 23.7
	その他	▲ 6.8	化粧品等の動きが鈍く、3か月連続で前年を下回った。	▲ 25.2	▲ 24.3
スーパー	九州計	1.2	衣料品が不調だったものの、飲食物品や洗剤等の動きが良かったことなどから、4か月連続で前年を上回った。	1.2	▲ 0.7
	衣料品	▲ 3.1	ビジネス用品やコートを中心に全般的に動きが鈍く、3か月連続で前年を下回った。	▲ 23.3	▲ 22.9
	飲食物品	4.2	生鮮食品を中心に、全般的に動きが良かったことなどから、15か月連続で前年を上回った。	6.7	4.7
	その他	0.1	洗剤等が好調だったことなどから、4か月連続で前年を上回った。	0.4	▲ 2.6

### (2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

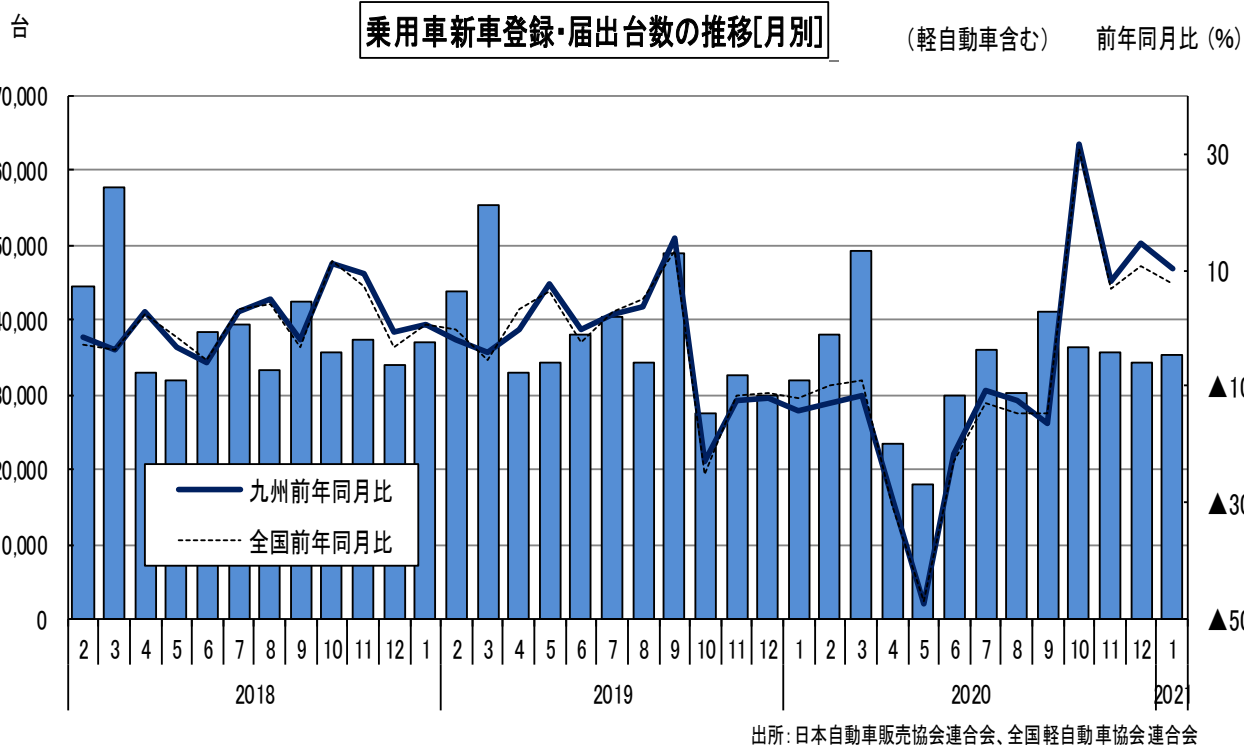
	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	93,278	▲ 3.9	5,600	▲ 0.1	929,028	▲ 4.4	56,535	0.1
全国比	10.0	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	33,440	17.0	304	1.0	430,596	11.4	2,564	0.8
全国比	7.8	—	11.9	—	—	—	—	—
ドラッグストア	57,360	4.2	1,536	0.5	587,677	3.4	17,034	3.6
全国比	9.8	—	9.0	—	—	—	—	—
ホームセンター	26,938	—	545	—	257,834	10.8	4,411	1.4
全国比	10.4	—	12.4	—	—	—	—	—



### (3) 乗用車新車登録・届出台数動向

1月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	35,246台	+ 10.3%	4か月連続	323,934台	+ 7.7%	4か月連続
普通	12,406台	+ 25.6%	4か月連続	128,312台	+ 20.0%	4か月連続
小型	7,898台	▲ 8.9%	3か月連続	79,355台	▲ 7.1%	3か月連続
軽	14,942台	+ 11.5%	4か月連続	116,267台	+ 7.3%	4か月連続

		2019年	2020年	2020年				2020年			2021年
				1~3	4~6	7~9	10~12	10月	11月	12月	1月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	▲ 12.6	▲ 32.2	▲ 13.4	17.6	31.7	8.3	14.7	10.3
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	▲ 17.3	▲ 38.2	▲ 18.7	29.3	46.8	23.4	20.9	25.6
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	▲ 5.7	▲ 21.3	▲ 14.8	4.0	28.4	▲ 7.7	▲ 4.6	▲ 8.9
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	▲ 13.6	▲ 34.8	▲ 8.1	17.5	23.1	7.4	23.7	11.5
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 14.1	15.3	30.8	6.7	10.8	7.7
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	▲ 15.0	▲ 38.7	▲ 19.0	24.6	38.2	21.0	17.0	20.0
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	▲ 5.2	▲ 23.2	▲ 14.8	3.0	29.9	▲ 11.7	▲ 4.4	▲ 7.1
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	▲ 9.0	▲ 35.0	▲ 8.2	15.7	24.3	7.2	16.7	7.3



#### (4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

12月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	28万6,586円	▲ 2.2%
	全国	31万5,007円	▲ 0.6%	3か月ぶり

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

12月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	94万3,118円	▲ 7.9%
	全国	104万5,032円	▲ 1.3%	12か月ぶり

(二人以上の世帯)

2020年	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	26万9,515円	▲ 2.8%
	全国	27万7,926円	▲ 5.3%	2年ぶり

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

2020年	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	56万5,808円	+ 4.0%
	全国	60万9,535円	+ 4.0%	2年連続

出所:総務省「家計調査報告」

#### (5) 賃 金 (現金給与総額)

11月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	24万8,677円	▲ 1.4%	2か月連続	9.3時間	▲ 7.2%	14か月連続
製造業	28万1,597円	▲ 0.6%	8か月連続	14.3時間	▲ 5.6%	28か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2019年	2020年	2020年				2020年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
九州 全産業	5人以上	▲ 1.7	-	0.6	▲ 1.1	0.9	-	0.1	▲ 0.0	▲ 1.4	-
		▲ 3.6	-	0.4	▲ 2.4	▲ 2.7	-	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.6	-
全国 全産業	5人以上	▲ 0.4	▲ 1.2	0.7	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 3.0
		▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 3.7	▲ 3.8	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 3.5	▲ 5.0

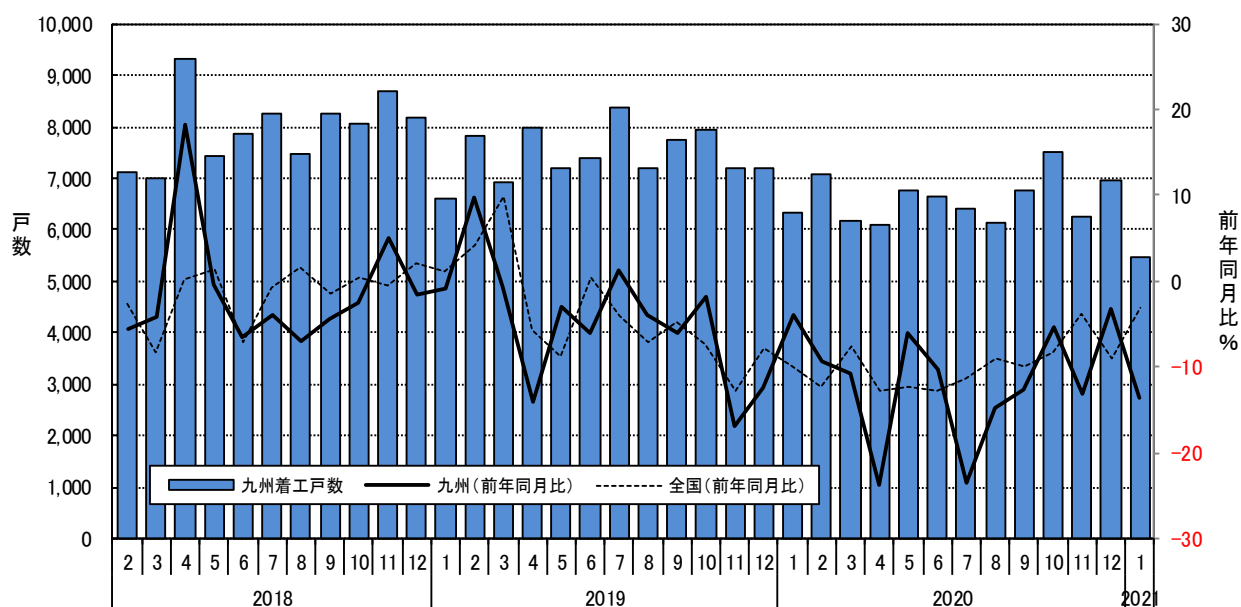
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## 5. 住宅建設動向

1月			
九州	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	5,480戸	▲ 13.7%	18か月連続
持家	2,229戸	+ 1.8%	2か月連続
貸家	1,953戸	▲ 19.7%	7か月連続
分譲	1,256戸	▲ 26.3%	3か月連続
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	58,448戸	▲ 3.1%	19か月連続
持家	19,200戸	+ 6.4%	3か月連続
貸家	19,794戸	▲ 18.0%	29か月連続
分譲	19,089戸	+ 6.9%	15か月ぶり

項目		2019年	2020年	2020年				2020年			2021年
				1~3	4~6	7~9	10~12	10月	11月	12月	1月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 13.7	▲ 17.2	▲ 7.2	▲ 5.3	▲ 13.2	▲ 3.2	▲ 13.7
	全国	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 9.9	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 7.0	▲ 8.3	▲ 3.7	▲ 9.0	▲ 3.1
前年比: %	持家	九州 ▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 9.5	▲ 22.8	▲ 12.1	▲ 5.0	▲ 9.3	▲ 5.4	0.0	1.8
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 9.9	▲ 0.9	▲ 6.1	1.5	2.4	6.4
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 6.8	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 0.8	▲ 19.7
	全国	▲ 13.7	▲ 10.5	▲ 9.6	▲ 12.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 11.5	▲ 18.0
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	1.6	▲ 7.9	▲ 29.2	▲ 12.1	4.4	▲ 28.2	▲ 17.4	▲ 26.3
	全国	4.9	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 6.2	▲ 11.7	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 6.1	▲ 18.4	6.9

住宅着工戸数の推移(月別)



出所:国土交通省「建築着工統計調査」

## 6. 物価動向

1月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.6	0.7%	5か月ぶり	▲ 0.1%	4か月連続
1月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.6	+ 0.5%	5か月ぶり	▲ 0.6%	4か月連続

1月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	100.7	+ 0.4%	2か月連続	▲ 1.6%	11か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	91.5	+ 0.9%	2か月連続	▲ 1.0%	21か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	86.3	+ 2.3%	3か月連続	▲ 8.2%	21か月連続

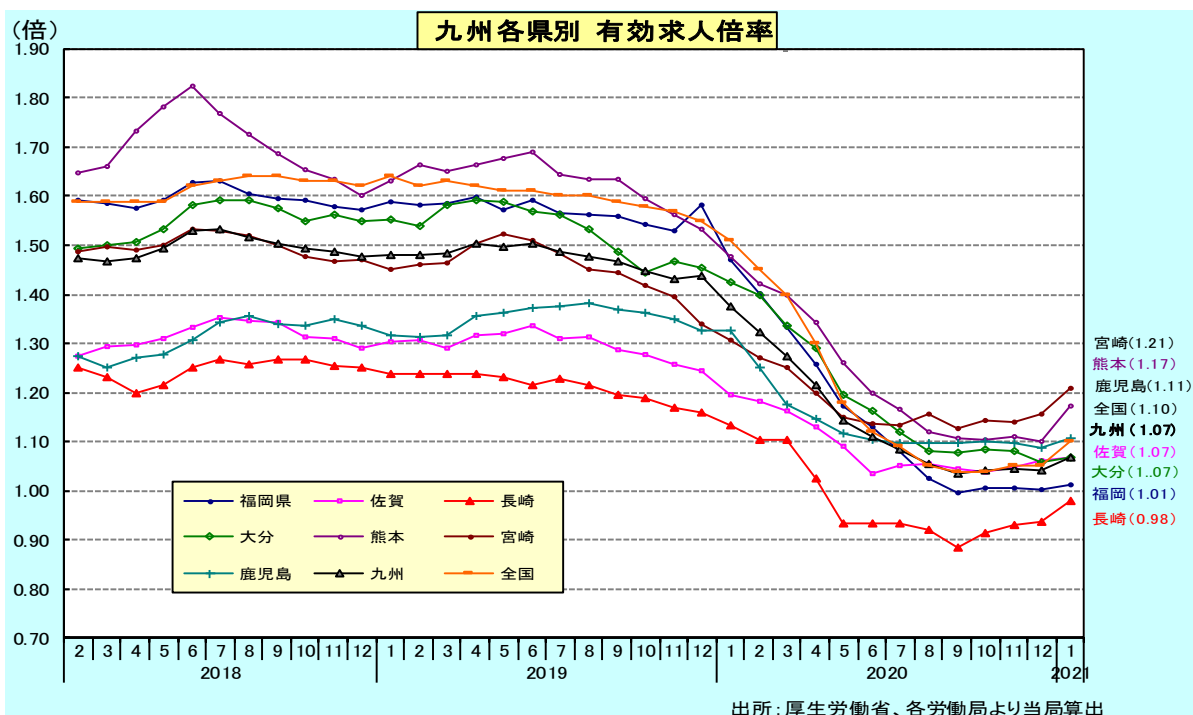
出所:総務省「消費者物価指数」(平成27年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成27年基準)

## 7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年 1~3	4~6	7~9	10~12	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.32	1.16	1.06	1.04	1.04	1.05	1.04	1.07
	全国	1.60	1.18	1.45	1.20	1.06	1.04	1.04	1.06	1.06	1.10
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.92	1.74	1.82	1.88	1.82	1.88	1.94	1.88
	全国	2.42	1.95	2.18	1.80	1.83	2.00	1.82	2.02	2.07	2.03

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

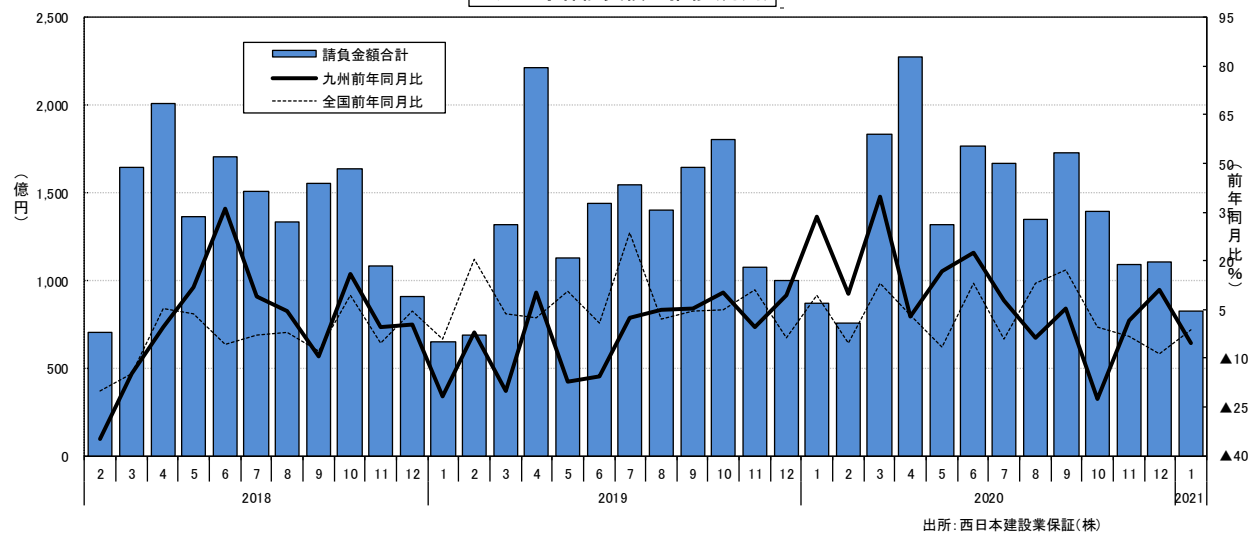
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



## 8. 公共投資動向

1月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	823億円	▲ 5.2%	3か月ぶり	▲ 26.8%	▲ 25.7%	▲ 10.3%	+ 13.7%	+ 14.4%
全国	6,328億円	▲ 1.4%	4か月連続	+ 18.4%	▲ 7.4%	▲ 3.7%	▲ 1.1%	▲ 39.2%

公共工事保証実績の推移(月別)

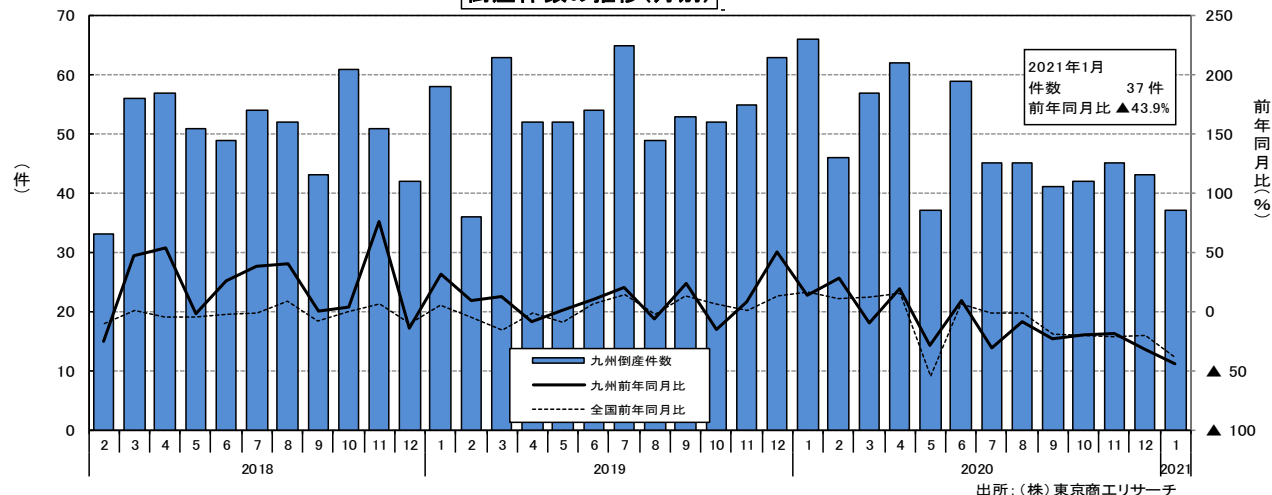


## 9. 企業倒産動向

1月		前年同月比		
倒産件数	九州	37件	▲ 43.9%	7か月連続
	全国	474件	▲ 38.7%	7か月連続
負債総額	九州	46.6億円	▲ 78.1%	2か月ぶり
	全国	813.9億円	▲ 34.8%	6か月連続

1月 業種別		前年同月比		
倒産件数	製造	1件	▲ 88.9%	4か月ぶり
	卸・小売	12件	▲ 20.0%	2か月連続
	建設	4件	▲ 73.3%	7か月連続
	その他	20件	▲ 25.9%	3か月連続

倒産件数の推移(月別)



## (参考)業況判断

### (1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

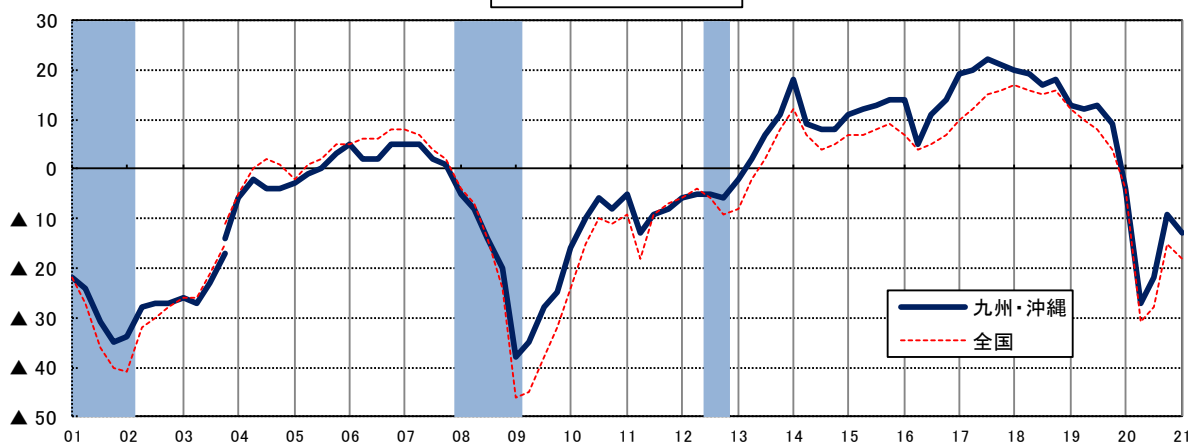
日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲13(前回調査比+16ポイント)、非製造業は▲6(同+13ポイント)、全産業で▲9(同+13ポイント)と改善した。次回予測(21年3月)の数値は、製造業は▲14(12月比▲1ポイント)、非製造業は▲12(同▲6ポイント)、全産業で▲13(同▲4ポイント)と予測。

(先行き)

業況判断DI		2018年		2019年				2020年				2021年
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	17	18	13	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲13
	全国	15	16	12	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲18
製造業	九州・沖縄	15	13	5	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲14
	全国	16	16	7	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲19
非製造業	九州・沖縄	18	20	17	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲12
	全国	14	15	15	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲16

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注) 網掛け部分は景気後退期

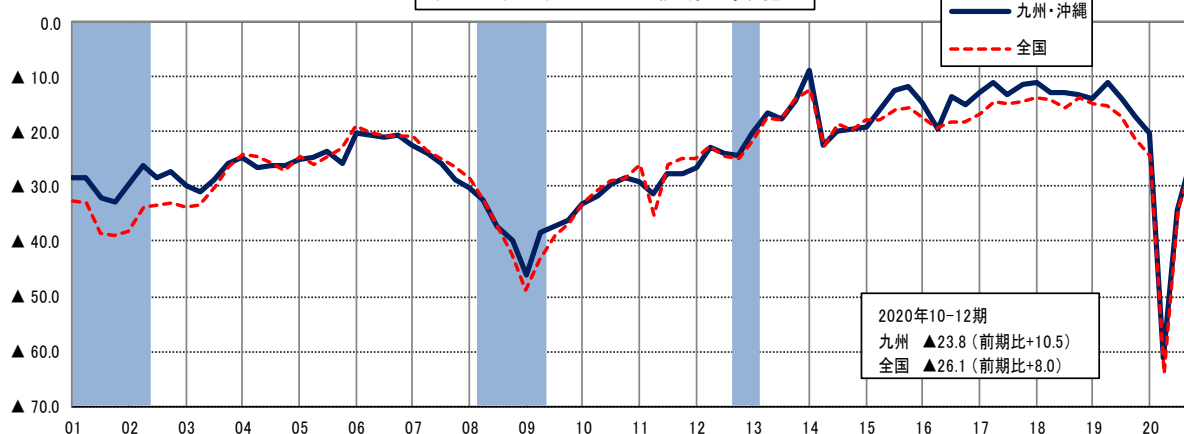
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

### (2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2020年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲23.8と前期から+10.5ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2018年		2019年					2020年			
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
全産業	九州・沖縄	▲12.8	▲13.1	▲14.0	▲11.1	▲13.9	▲17.2	▲20.2	▲61.4	▲34.3	▲23.8	
	全国	▲15.6	▲13.7	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1	▲34.1	▲26.1	
製造業	九州・沖縄	▲12.1	▲12.1	▲18.0	▲12.1	▲14.9	▲18.8	▲22.0	▲66.7	▲35.8	▲27.0	
	全国	▲10.5	▲10.7	▲14.0	▲15.0	▲17.5	▲22.6	▲27.4	▲65.9	▲40.8	▲29.2	
非製造業	九州・沖縄	▲12.9	▲13.4	▲13.1	▲10.6	▲13.4	▲16.5	▲20.0	▲59.9	▲33.9	▲22.8	
	全国	▲17.2	▲14.7	▲15.0	▲15.6	▲16.9	▲20.6	▲23.5	▲63.5	▲32.1	▲25.4	

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」